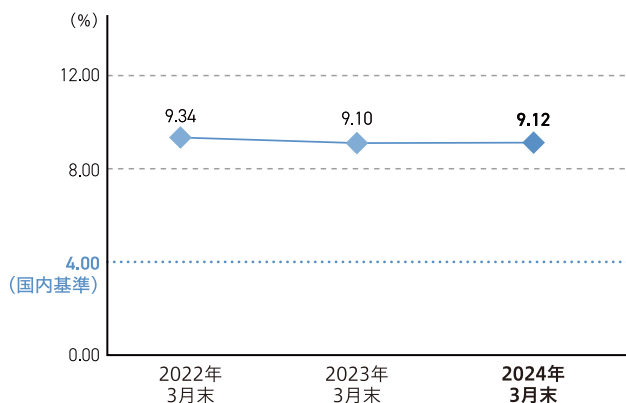


》 経営の健全性について

》 自己資本比率の推移【連結】

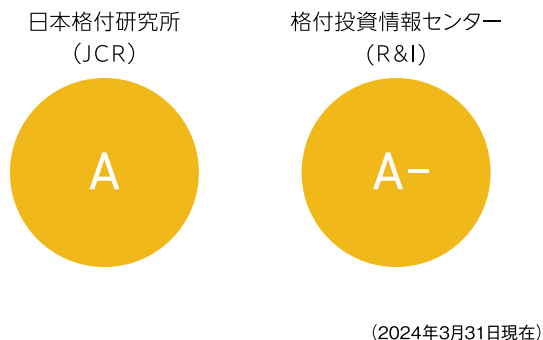
自己資本比率は、銀行の健全性を示す指標の一つです。

自己資本比率規制(国内基準)に基づく連結自己資本比率は、2024年3月末現在で9.12%となっており、引き続き十分な水準を確保しております。



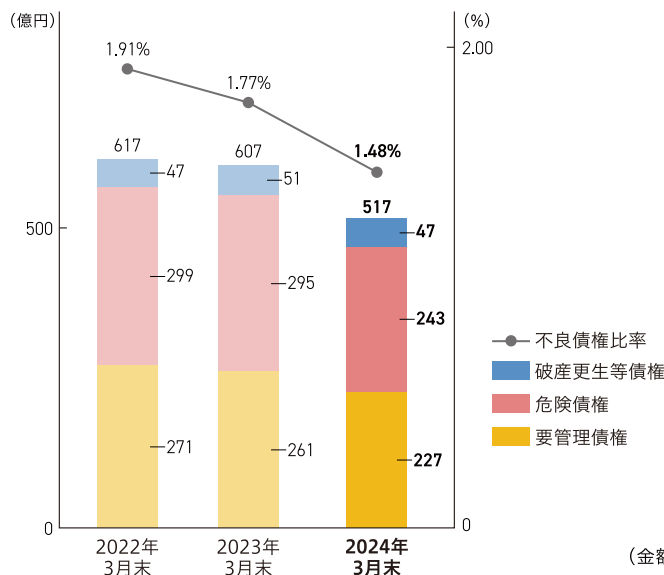
》 格付

当行は、日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付について「A」を、格付投資情報センター(R&I)から発行体格付について「A-」の格付を取得しており、経営の健全性について高く評価されています。



》 金融再生法開示債権の状況【単体】

当期末の金融再生法開示債権*ベースの不良債権残高は、いずれの債権区分においても減少したことで前期末比90億円減少して517億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.29ポイント低下して1.48%となりました。



* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金(貸出金に準ずるもの)及び銀行保証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しています。

